

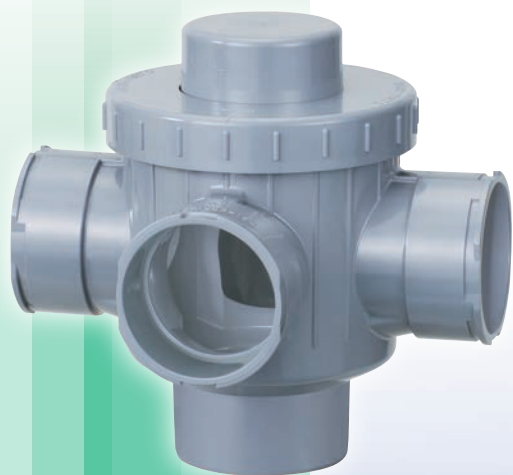
クボタケミックス

KCユカマスS

KC貫通パック

■ 排水合流継手

■ 基礎貫通継手



設備工事を省力化し、
エクステリアをスッキリ

コンパクト床下集合配管システム

長期優良住宅に対応

基礎を傷めずに
排水管を更新

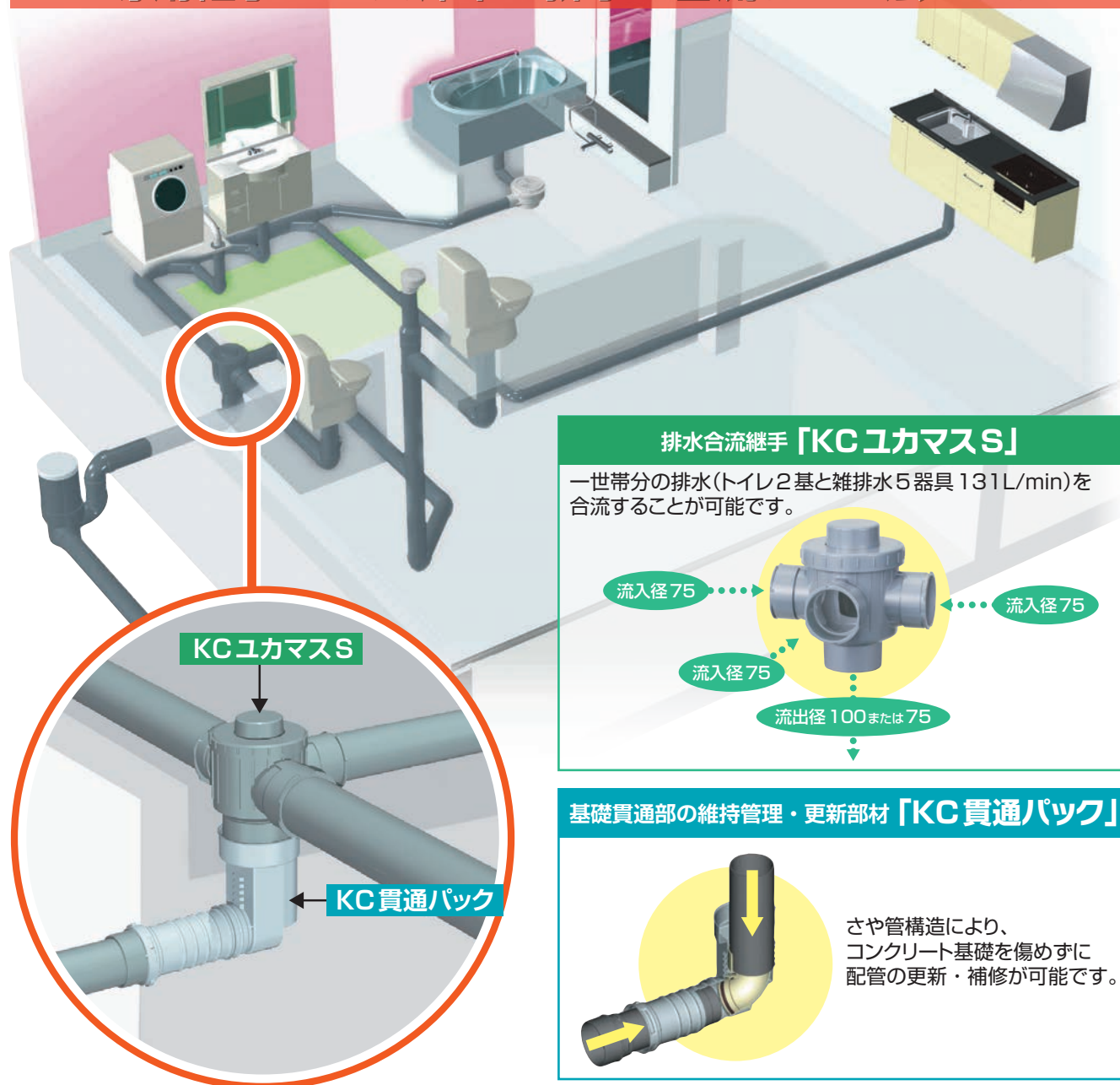


長期優良住宅法
【フラット35】S
対応商品

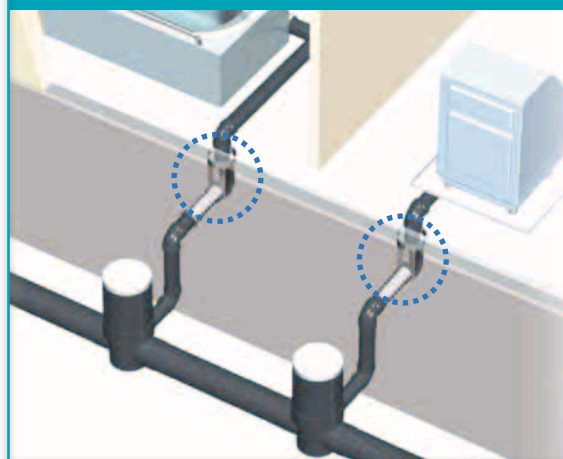


クボタケミックス 排水合流継手工法

専用継手により、床下で排水を合流する工法です。



基礎貫通部の維持管理・更新部材「KC貫通パック」



➡ 特長 P.3 ➡ 品揃え P.4
➡ 施工事例・施工方法 P.5、6

●長期優良住宅法に対応

住宅の品質確保促進法の維持管理・更新の容易性の性能表示等級3に対応。

●【フラット35】Sの技術規定に対応

住宅技術基準「耐久性・可変性」を取得する部材として使用可能。

排水合流継手「KCユカマスS」

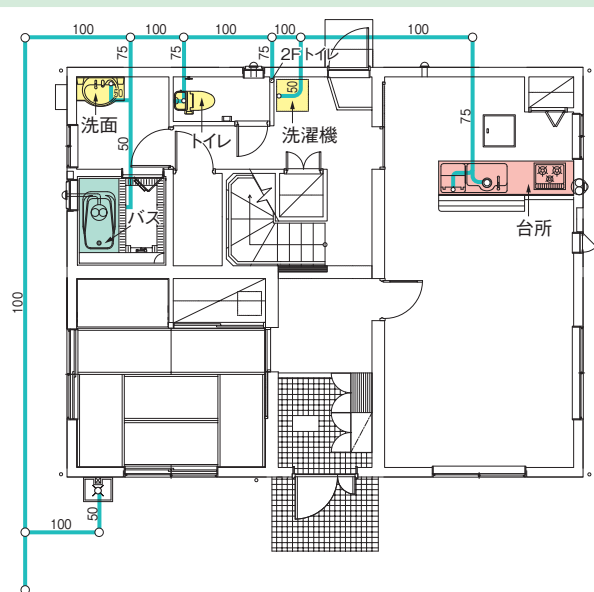
▶ 特長 P.7 ▶ 品揃え P.8 ▶ 施工事例 P.9 ▶ 設計上の留意点 P.10、11 ▶ 施工方法 P.11～13

ご採用
メリット

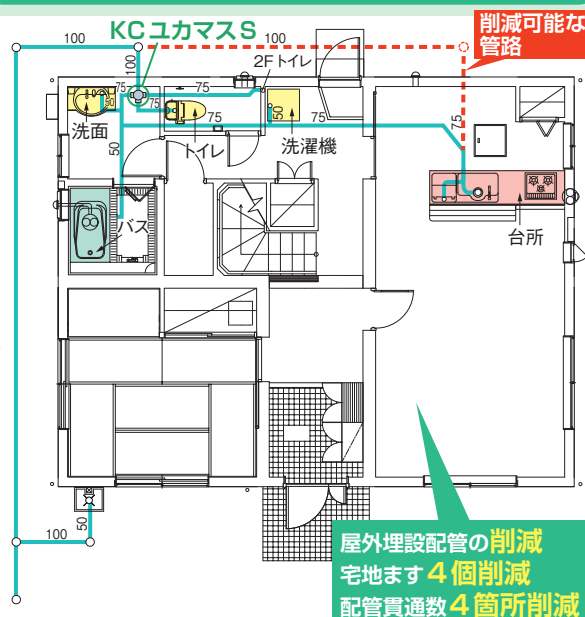
1

屋外埋設配管、宅地ます、外周基礎の配管貫通数の削減により、排水設備工事の省力化、コストの低減が可能です。

従来配管



排水合流継手工法

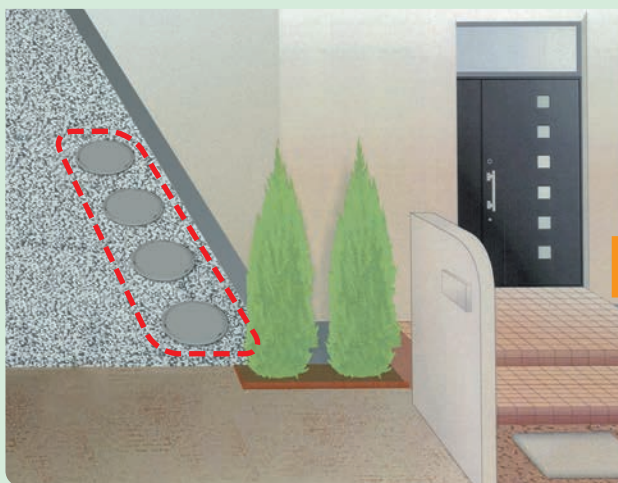


ご採用
メリット

2

宅地ますの蓋が減ることでエクステリアがスッキリ。

従来配管



排水合流継手工法



こんなときに
便利です

間口の狭い現場で

貫通配管の離隔を取れないときに

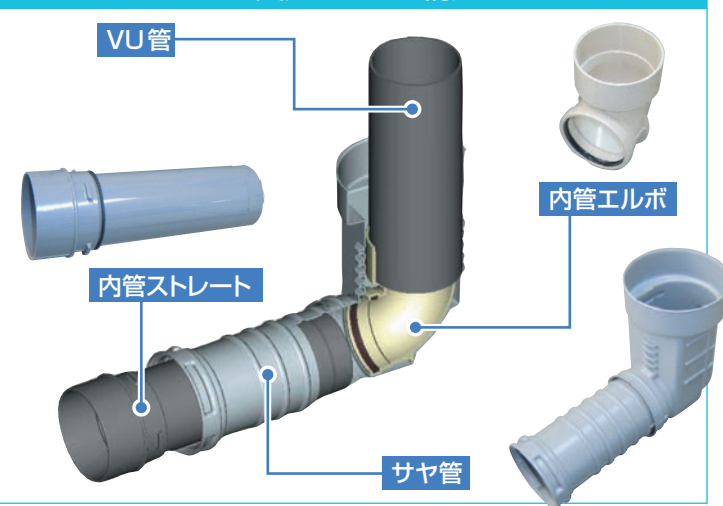
リフォーム現場で

既存の配管に排水器具を増設したいときに
※KCユカマスS直下の継手がVUDL75の場合、トイレ1基と雑排水2～3器具(90L/min)合流可能

KC貫通パックの4つの特長

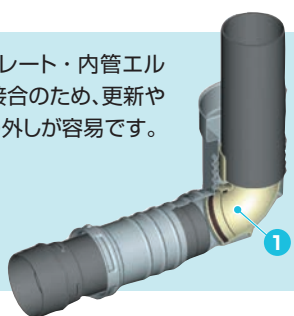
- 更新性
- 信頼性
- 掃流性
- 順応性

KC貫通パックの構造



点検・更新が 容易に

① 内管(内管ストレート・内管エルボ)は、ゴム輪接合のため、更新や補修による取り外しが容易です。



② 内管ストレートはさや管にロック。内管エルボも固定されるため、外構側・屋内側のどちらからでも容易に配管を行えます。



材質は 実績十分な 塩ビ製

① 内管の材質は、硬質ポリ塩化ビニル製です。磨耗や維持管理ツールの使用に対して外構・屋内に使用する塩ビ管・継手と同等の耐久性があります。

内管の物性

※材質は JIS K 6739(排水用硬質ポリ塩化ビニル管継手)に準拠

項 目	数 値
引張降伏強さ	23℃における引張降伏強さが45MPa以上
ピカット軟化温度	76℃以上

② さや管と内管の隙間には、簡単に取り付けられる防虫リングを使用します。屋外からの虫の侵入防止と水密性に効果を発揮します。



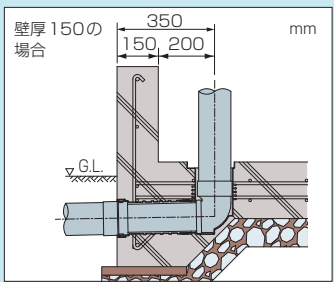
スムーズな 流れを 実現

① 内面は滑らかです。スムーズな排水の流れを実現します。



② 壁際に垂直に立ち上げるため、従来配管と同様の配管が可能です。

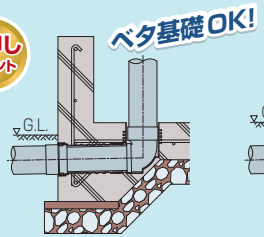
1押しポイント



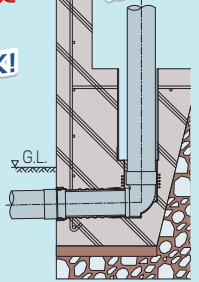
さまざまな 基礎に 対応可能

① 1種類で、さまざまな基礎に対応します。

1押しポイント



深基礎OK!



VU管でかさ上げ可能

② さや管本体の固定リブで配筋へしっかり固定。勾配不具合を生じにくくします。



1押しポイント

⚠ 深基礎で使用する場合の施工方法、注意事項については、製品に同梱の取扱説明書、または弊社までご確認ください。

Pack 100

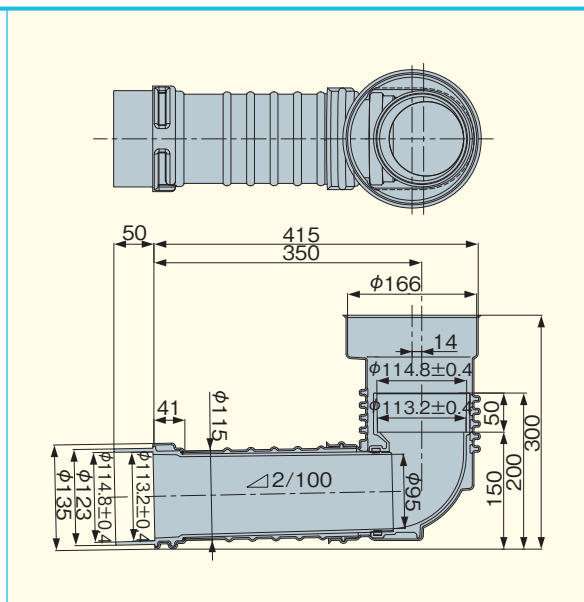
【品番】5427 0100 0000
【梱包数】2個/箱

適用排水管：VU100(KCユカマスを接合可能)

さや管部材

防虫リング

内管部材



Pack 75

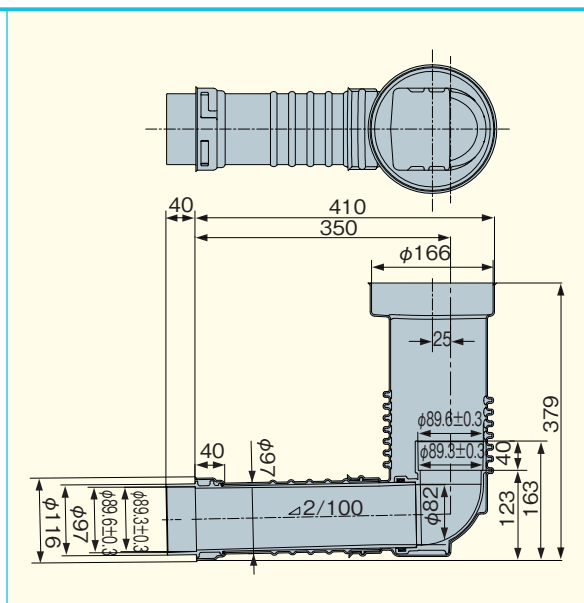
【品番】5427 0075 0000
【梱包数】2個/箱

適用排水管：VU75

さや管部材

防虫リング

内管部材



Pack 50

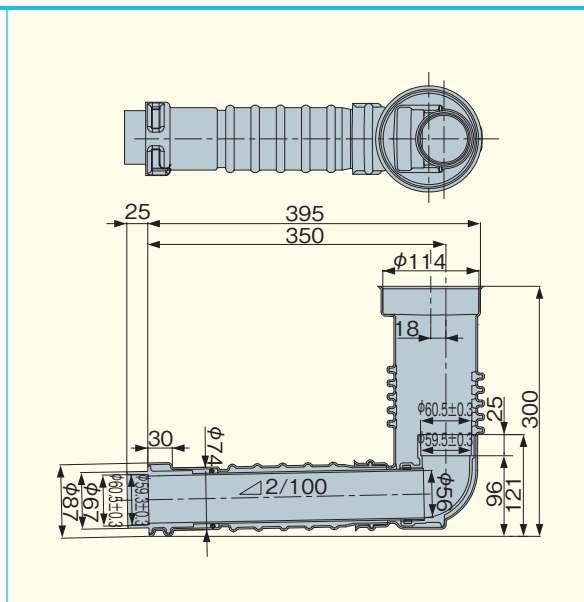
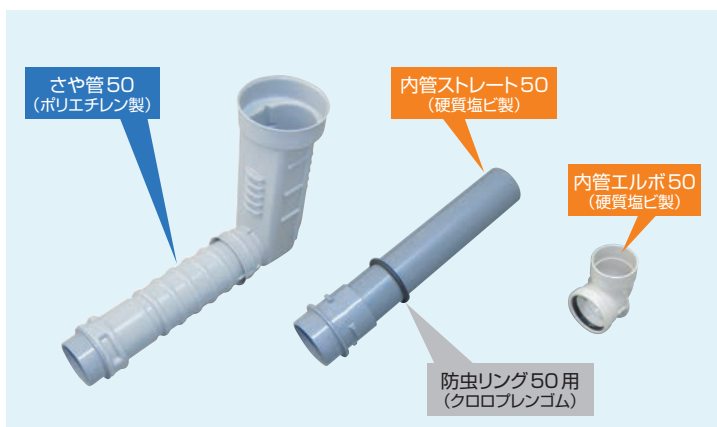
【品番】5427 0050 0000
【梱包数】4個/箱

適用排水管：VU50

さや管部材

防虫リング

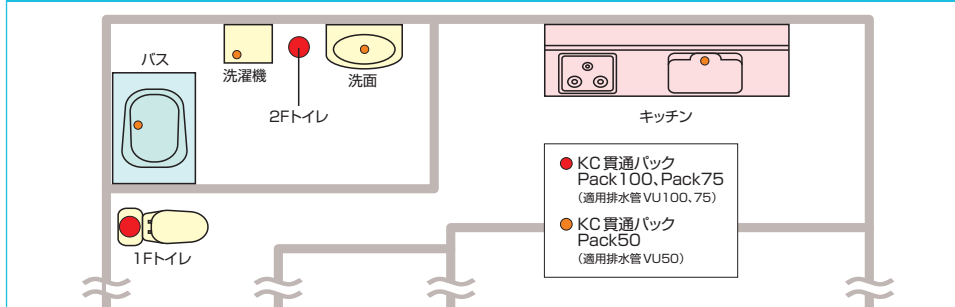
内管部材



施工事例

各水周りからKC貫通パックで外構へ排水する施工例

KC貫通パックの設置図



※KC貫通パックとKCユカマスを使用した施工例は9ページを参照ください。

KC貫通パック設置箇所全景

KC貫通パックの施工

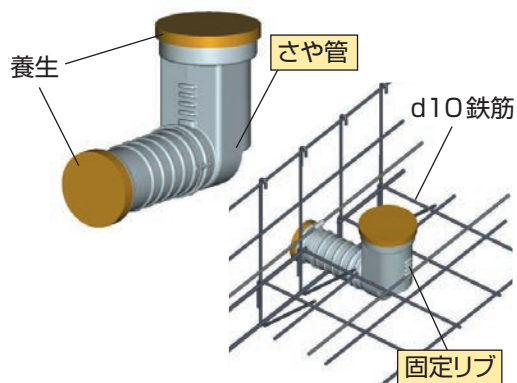


背にある固定リブでしっかり固定

施工方法

1 さや管の位置決め

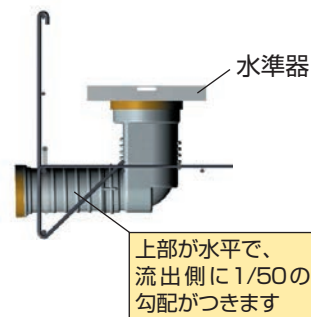
- ① さや管の管端を養生テープ等でしっかりとシールしてください。



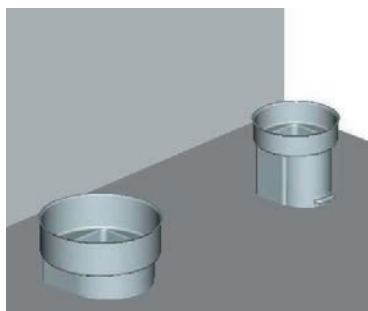
- ② 市販のスリーブ固定具やさや管の固定リブ等を利用して、しっかりと配筋に固定してください。

- ⚠ 配筋との離隔距離を確保してください。配筋の切断箇所は、適切に補強筋を配置してください。
- ⚠ 固定リブを利用する場合には、d10の鉄筋を使用してください。
- ⚠ さや管が変形しないように固定してください。
- ⚠ さや管を分解しないでください。

- ③ さや管の上部が水平であることを確認してください。

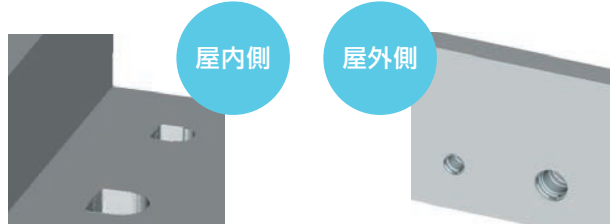


2 コンクリートの打設



- ⚠ 立会いをするなど、立上りが垂直であることを確認しながら注意してコンクリートを打設してください。
- ⚠ さや管がつぶれたり、変形しないように、突き棒やパイプレータで周辺を充填してください。

3 さや管の仕上げ

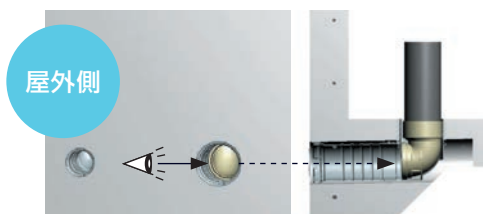
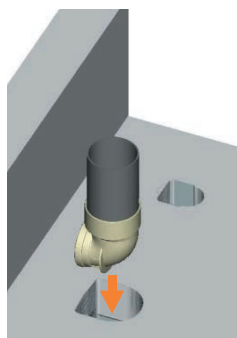
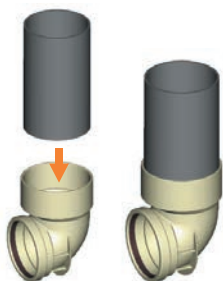


手ノコやサンダーを使用して基礎天端で突き出たさや管を切断してください。

さや管の内面が完全に現れるまでコンクリートを取り除いてください。

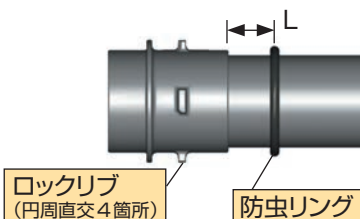
4 立ち上り用調整管の接続

- ① 長さ調節したVU管の外面と内管エルボの受口内面に接着剤を薄く、塗りムラや塗り洩れのないように円周方向に均一に塗布し、接着接合してください。
(VU管、接着剤は弊社製品をご使用ください)
- ② さや管の中に内管エルボをゆっくりと下まで挿入してください。
- ③ 屋外側からさや管内部を覗き、内管エルボのゴム輪が全周にわたり見えることを確認してください。



5 内管(内管ストレートと内管エルボ)の接続

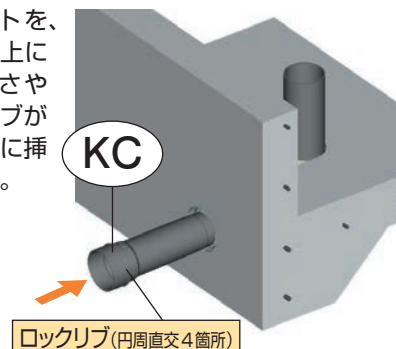
- ① 内管ストレートの防虫リングを標線位置にセットしてください。



⚠ サイズによりセット位置が異なります。標線位置については、製品に同梱の取扱説明書をご確認ください。

⊘ 内管エルボのゴムは自己潤滑ゴムです。内管ストレート挿入部には滑剤(Vソープ)を塗らないでください。

- ② 内管ストレートを、KCマークを真上に向け、ゆっくりさや管内にロックリブが当たらないように挿入してください。



- ③ 最後まで押し込まれた位置で、内管ストレートを時計回りに止まるまで(約45°)回してください。

⚠ ゴム輪の転びや防虫リングがかみ込むと挿入が非常に固く、スムーズに回転しません。一度、引抜き、ゴムの状態を確認し、挿入してください。



- ④ 立上げ部から内面を覗き内管ストレートが、内管エルボに挿入されていることを確認してください。

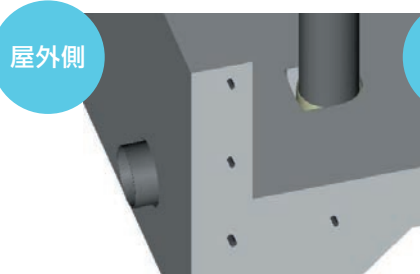


6 仕上げ

さや管と内管の隙間をコーキング材で充填し、仕上げてください。

屋外側

屋内側



さや管と内管の隙間には、必要に応じて市販のバックアップ材などを充填し、コーキング材で仕上げてください。

安全にご使用いただくための注意事項

- ⚠ 本製品は、製品同梱の取扱注意・施工要項を熟読の上、ご使用ください。
 - ⚠ 本製品は住宅メーカーとの協議の上で、設計・施工を行ってください。
 - ⚠ 内管単体では使用できません。必ずさや管と組み合わせてご使用ください。
 - ⚠ 深基礎で使用する場合は施工方法、注意事項については、製品に同梱の取扱説明書、または弊社までご確認ください。
 - ⊘ 取扱説明書、または弊社までご確認ください。
- さや管の中にゴミを入れないでください。内管の挿入や接続が適切に行えません。

- ⚠ 怪我の恐れがありますので、内管ストレートの挿入の際には、指などが挟まれないように注意してください。
- また、更新や補修で内管ストレートを引抜く際には、急激に力を加えず、ゆっくり引き、転倒しないように注意してください。
- ⚠ コーキング材には、硬質ポリ塩化ビニル管・継手に悪影響を及ぼす可塑剤(フタル酸エステル、DOPなど)や有機溶剤(キシレン、トルエンなど)を含むもの(ポリウレタン系シーリング材など)がありますので、成分をご確認の上ご使用ください。

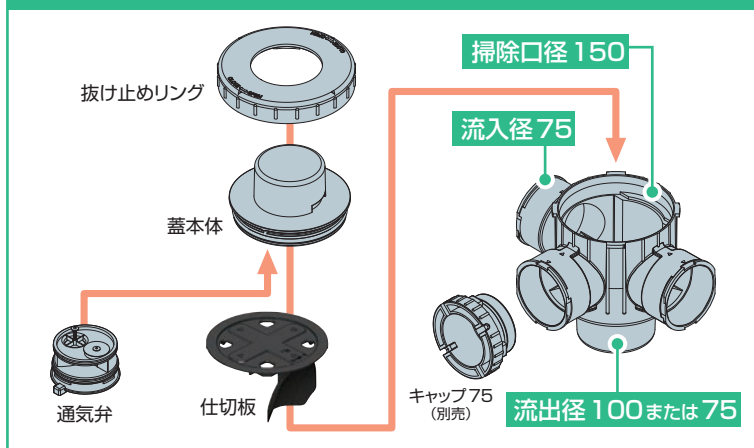
KCユカマスSの3つの特長

安心の
排水性能

優れた
維持管理性

超節水トイレ
対応

KCユカマスSの構造

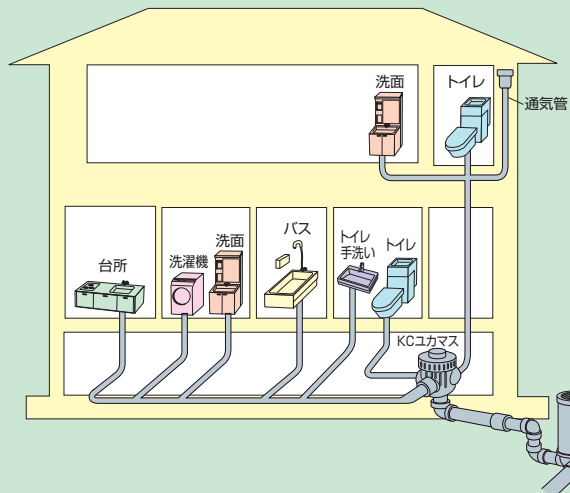


安心の排水性能

既存継手のみで床下合流した配管では、排水器具の同時使用時に排水管内の圧力が変動し、室内衛生性を守っている封水トラップを破封します。ユカマスは、正圧抑制のために排水を滞留させない形状に設計、負圧抑制のために通気弁を内蔵しました。評価施設において、その排水性能を確認しています。

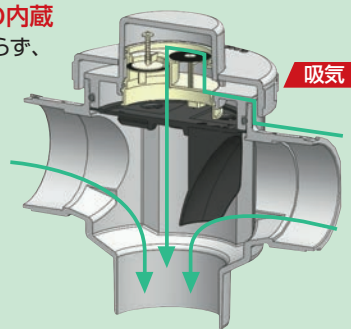
① 一世帯分の排水（雑排水5器具+汚水2器具）を合流可能です。

- ・P.10「KCユカマスS流出径100と流出径75の配管について」に記載の基礎貫通部の場合です。
- ・雑排水にトイレ手洗いは含みません。



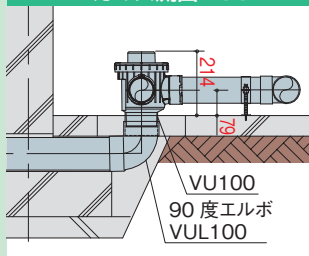
② 逆流防止機能付通気弁の内蔵

により下流側の配管に関わらず、破封を防ぎます。

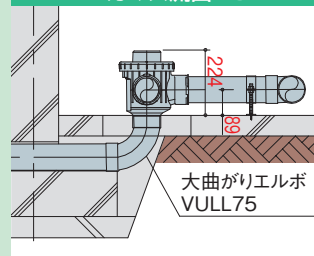


③ 流入管の接続高さが低く、勾配の確保が容易です。

ユカマス流出 100



ユカマス流出 75

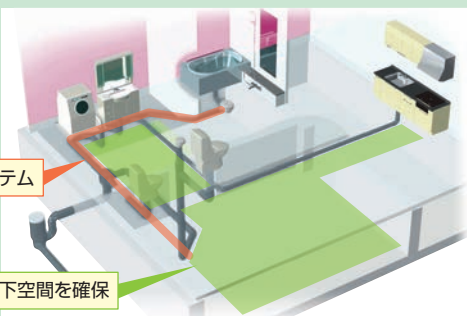


優れた維持管理性

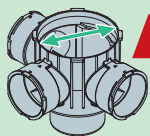
④ 製品コンパクト&壁際配管により、床下すっきり維持管理者の床下移動を考えました。

壁際に配管できる管路システム

床下空間を確保



⑤ 掃除口径150を採用。・通常は排水器具より良好な維持管理性を実現しました。



良好な
維持管理性

超節水トイレ対応

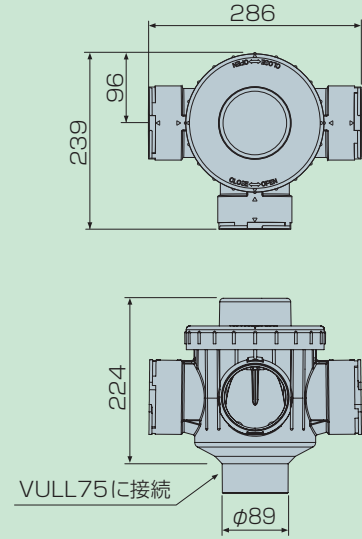
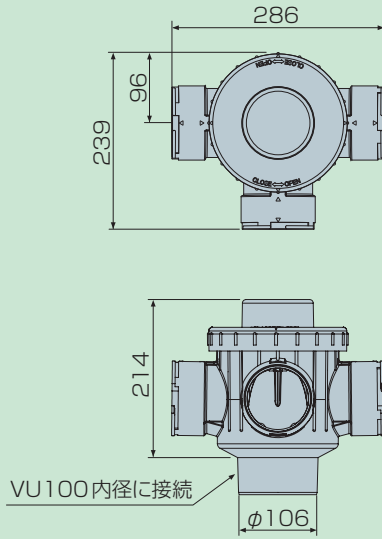
トイレの超節水化に対応、仕切板の形状を変更しました。運用についてはP.13をご覧ください。



KCユカマスS

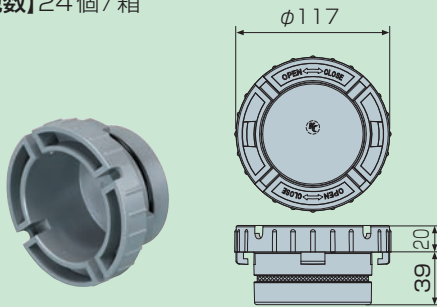
流出径 100 【品 番】5425-0075-4100
【梱包数】1 個 / 箱

流出径 75 【品 番】5425-0075-4075
【梱包数】1 個 / 箱

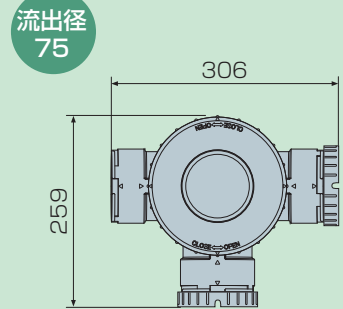
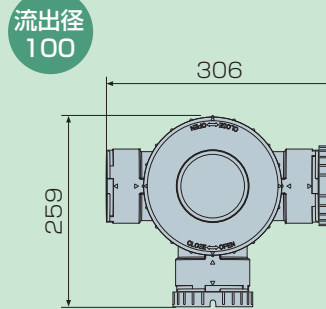


キャップ(別売)

【品 番】5425-0075-9999
【梱包数】24 個 / 箱



キャップ使用時寸法



(追加用)仕切り(別売)

【品 番】5425-9999-0014
【梱包数】50 個 / 箱

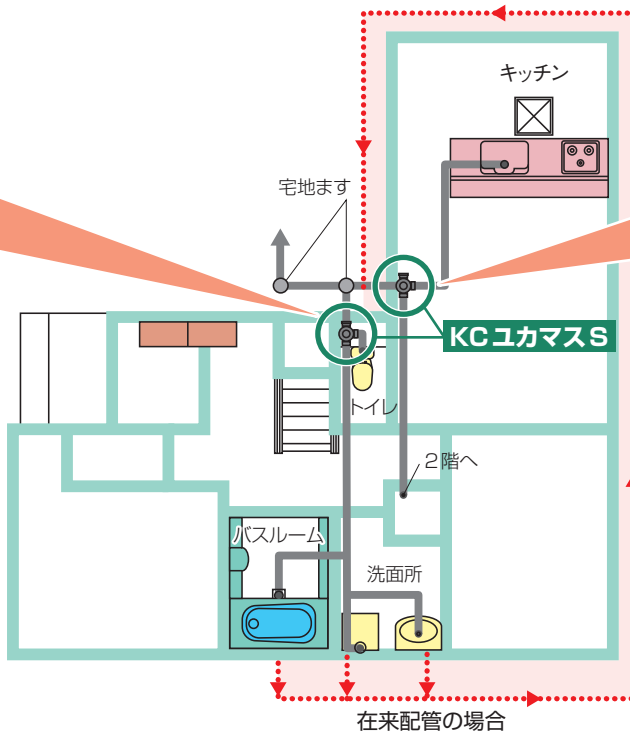


外構配管の
大幅削減

1 KCユカマスSを使用し、外構配管を削減した配管例



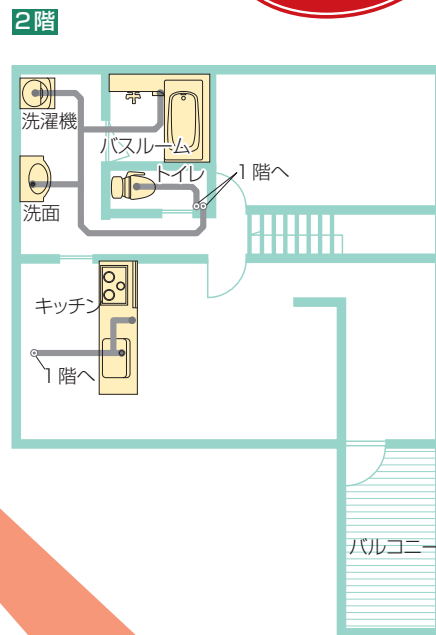
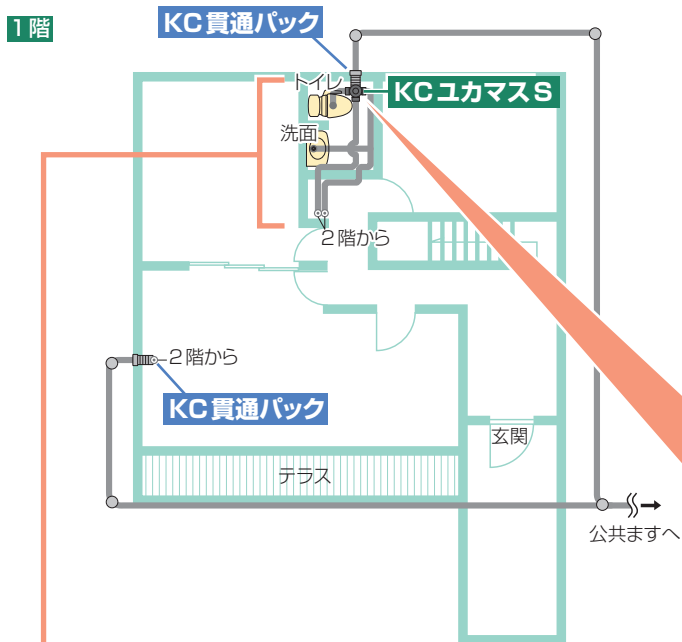
1階のバス、洗面、洗濯機の雑排水とトイレの汚水を集水



2階のトイレの汚水とキッチンの雑排水を集水

2 長期優良住宅仕様の住宅で、KCユカマスSと貫通パックを使用した配管例

基礎強度の確保
+
更新可能



基礎貫通部を減らし、基礎強度を確保



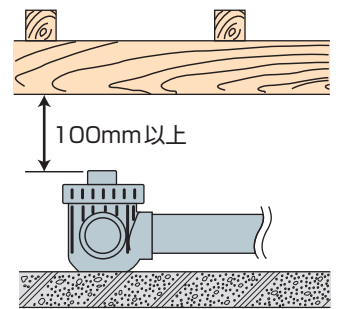
1階部分の排水管全景



キッチン以外の1階、2階の汚水・雑排水を1階床下で集水

使用可否の確認

- ⚠ 計画物件の管轄事業体において、排水合流継手KCユカマスSの許認可、使用条件をご確認ください。
- ⚠ 維持管理上、以下の点をお守りください。
 - 維持管理者が床下に入れるように床下点検口を設置してください。
 - "KCユカマスS"上部の空間を100mm以上確保してください。(右図参照)
- ⚠ 床下は空気の流入が行われるよう通気口等を設けてください。
- 🚫 屋外での露出配管および埋設配管には使用できません。



KCユカマスS 流出径 100と流出径 75の配管について

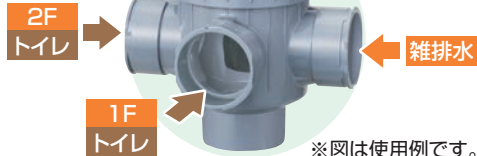
	接合	基礎貫通部	
		実管による配管	貫通パックによる配管
KCユカマスS 流出径 100	 接合剤塗布 (差口外面) 接合剤塗布 (VU100内面)	 VU100 VUDL100 90度エルボ 100 (VUL100)	 VU100 VUDL100
KCユカマスS 流出径 75	 接合剤塗布 (差口外面) 接合剤塗布 (75受口内面)	 異径エルボ VUL100x75 VU75 大曲がりエルボ 75 (VULL75)	合流可能な排水流量 トイレ1基 + 排水90L/min (一世帯分の排水を合流することはできません。)

配管上のルール

【合流可能な排水流量】

一世帯分の排水を合流可能です。

※一世帯分の排水とは、トイレ手洗いを除く雑排水5器具(合計131L/min以下)とトイレ2つです。



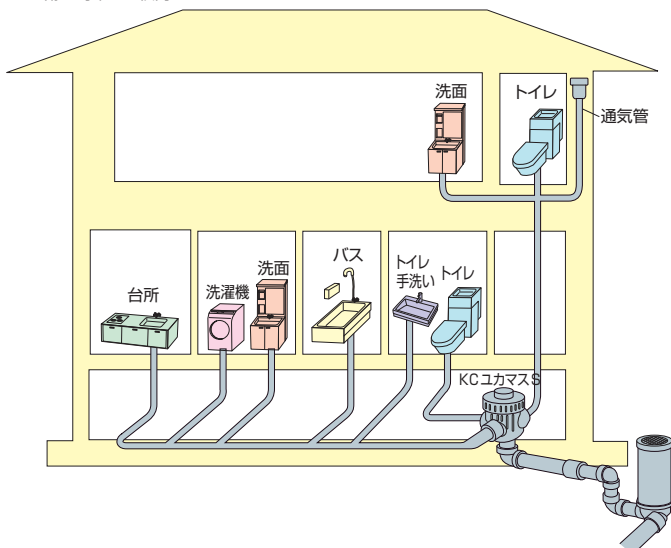
【標準配管】

KCユカマスSは1F床下に設置します。

1F汚水(トイレ排水)と雑排水は配管で合流させずに、KCユカマスSで合流させます。

- ・通気管を設置する2F、3Fトイレは、洗面またはトイレ手洗いを合流できますが、1Fトイレは、トイレ手洗いを合流させずに、KCユカマスSに単独で接続します。
- ・雑排水はVU-DV継手により合流後、KCユカマスSに接合します。
- ・一口に合流可能な雑排水は131L/分以下です。
- ・2Fトイレまたは3Fトイレ配管を接続する場合はKCユカマスS内部の仕切板を一旦取り外し、仕切りの位置を流入方向に合わせてください。詳細はP.13施工方法6.仕切板の設置をご参照ください。
- ・曲部継手は、掃流性を考慮して45LまたはLLのご使用を推奨いたします。
- ・雑排水の合流継手には、45YまたはLTのご使用を推奨いたします。

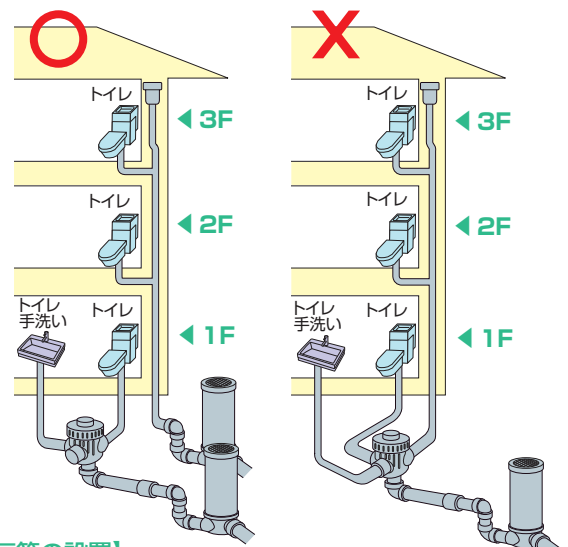
※排水器具側でトラップを設置しない場合は、単独配管でトラップマスを使用するなど、別途、衛生対策をご検討ください。



🚫【禁止配管】

2F汚水と3F汚水を合流した場合は、KCユカマスSにつなぐことはできません。

※KCユカマスSにつないだ場合、同時排水時にトラップの封水がはね出す可能性があります。

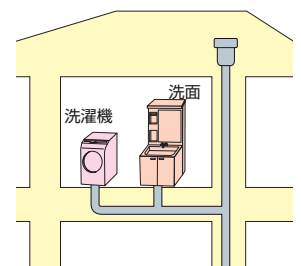
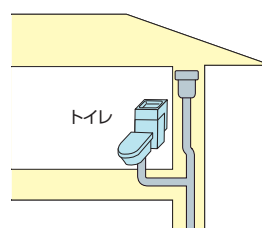


⚠【通気管の設置】

2F、3Fの排水については、騒音の発生や誘導サイホンによる破封を防ぐために従来の配管と同様に通気管または通気弁が必要です。

2F、3Fにトイレを設置するケース

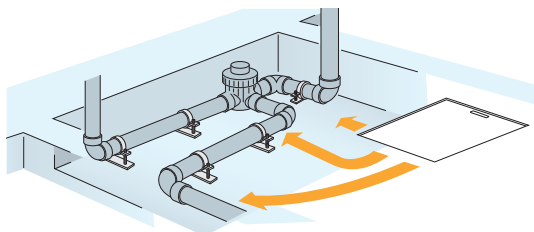
2F、3Fで雑排水2器具以上を合流するケース



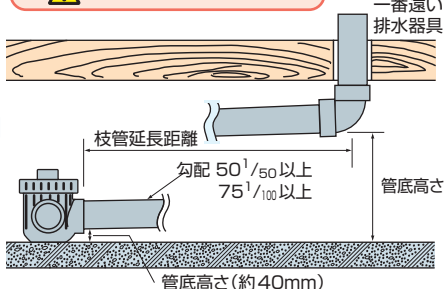
配管設計

【KCユカマスSの配置】 外構配管、排水器具、床下点検口の位置からKCユカマスSの設置位置を決定します。設置位置の決定に際しては、以下の点をご確認ください。

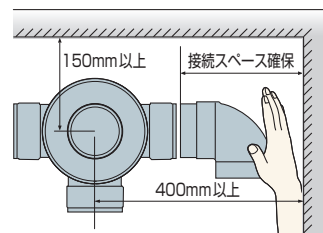
⚠ 床下の維持管理が可能か



⚠ 排水勾配を確保できるか



⚠ 基礎壁に接触しないか
⚠ 排水枝管の接続は可能か



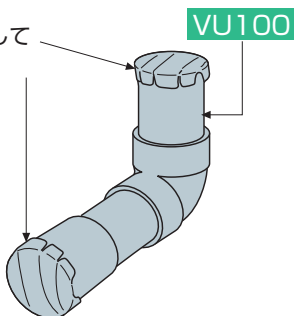
【スリーブの配置】 基礎貫通部の排水管位置を決定します。※基礎貫通配管の更新性が必要な場合はクボタケミックス製“KC貫通バック”をご使用ください。基礎間仕切り壁のスリーブ位置を決定します。

施工方法

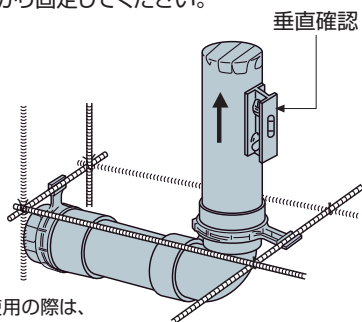
1 基礎貫通部排水管の設置

KCユカマスS 流出径 100 の場合

① 排水管の両端を養生してください。



② 立上り管が垂直になるように、排水管を鉄筋にしっかり固定してください。



※貫通バックをご使用の際は、5ページをご覧ください。

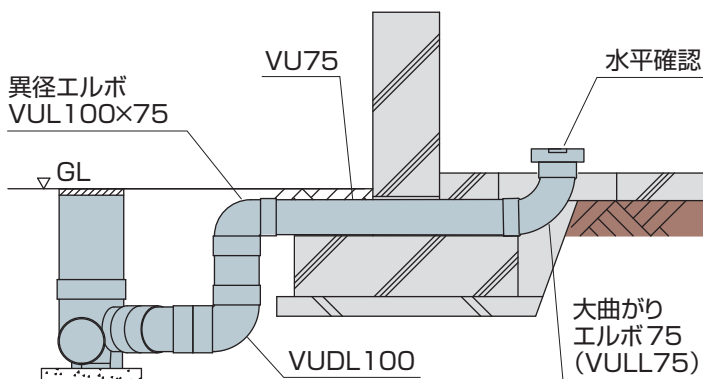
⚠ コンクリートの打設時に立上り管が傾くとKCユカマスSの水平が取れません。実管スリーブが移動しないようコンクリートを打設してください。

⚠ 排水管は、必ずクボタケミックス製 VU100 を使用してください。VP100 には、KCユカマスSは接合できません。

KCユカマスS 流出径 75 の場合

① 排水管の両端を養生してください。

② VULL75 の上面が水平となるよう、排水管を鉄筋等にしっかり固定してください。

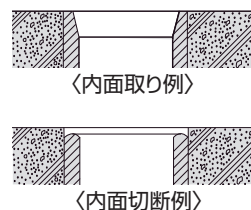
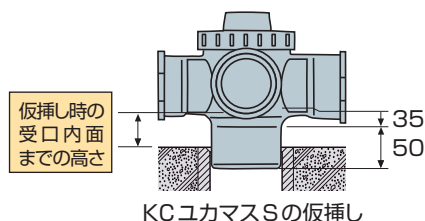


⚠ KCユカマスS 下流側の継手は必ず VULL75 を使用し、宅地ますへの接続は、異径エルボ VUL100x75 でφ100に拡張してください。深基礎の場合は、KCユカマスSの流出口に VUDS75 を接合し、VU75 を介して VULL75 に接続してください。

⚠ コンクリート打設時に VULL75 が傾くとKCユカマスSの水平が取れません。排水管が移動しないようコンクリートを打設してください。

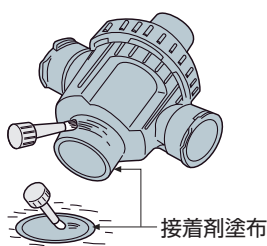
2 立上り管端部の切断・仕上げ(流出径100の場合)

- 1 立上り管を基礎天端で管軸に対して垂直に切断・バリ取りを行ってください。
- 2 KCユカマスSを仮挿しして受口内面までの高さを計ってください。
- 3 仮挿し時の受口内面までの高さ が 45~50mmになるようにスリーブ立上り管の内面処理を行ってください。

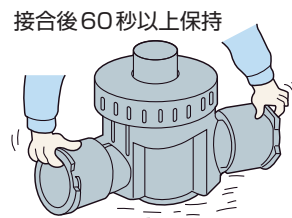


3 KCユカマスSの接続

- 1 立ち上り管内面(または上流側排水継手の受口内面)とKCユカマスS流出口外面に、接着剤を塗り、もれないように円周方向に薄く均一に塗布してください。
- 2 KCユカマスSが水平となるように、立上り管(または上流側排水継手)に接合し、60秒以上保持してください。

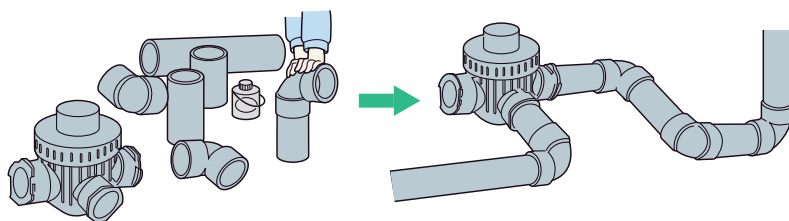


❌ 叩き込んで接合しないでください。



4 排水枝管の接続

- KCユカマスSと排水枝管を接着接合してください。
- KCユカマスSに接合する管は、VU75を使用してください。
VU50を接続する場合は、75×50異径継手を使用してください。
(クボタケミックス製パイプ・継手をご使用ください)。
- 排水枝管を接続しないKCユカマスS流入口は、キャップ(別売)を取り付けてください。

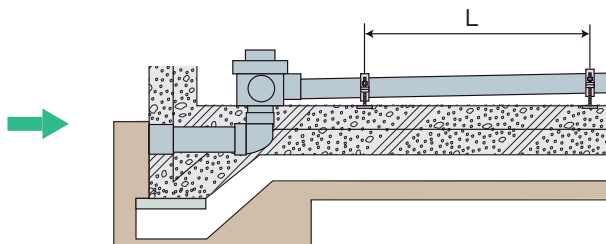
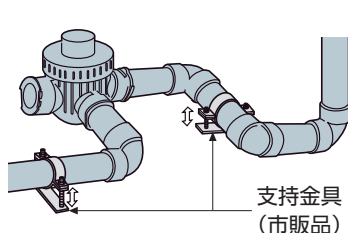


5 管の支持固定

- 排水枝管は下表の支持間隔・勾配を目安に支持固定してください。

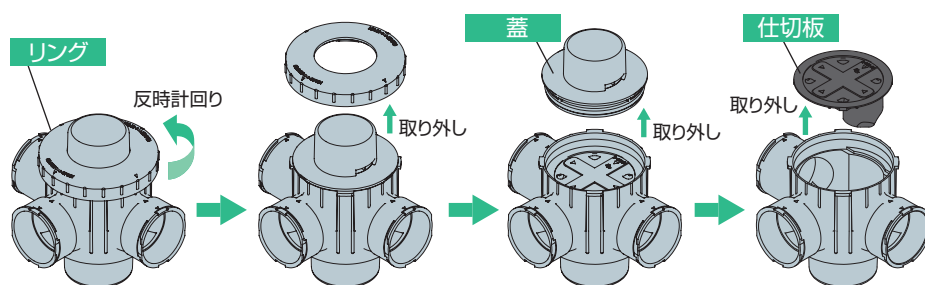
呼び径	50	75
支持間隔		
1箇所目	KCユカマスS付近	
2箇所目(L)	1.2m以内	1.5m以内

呼び径	50	75
勾配	1/50以上	1/100以上



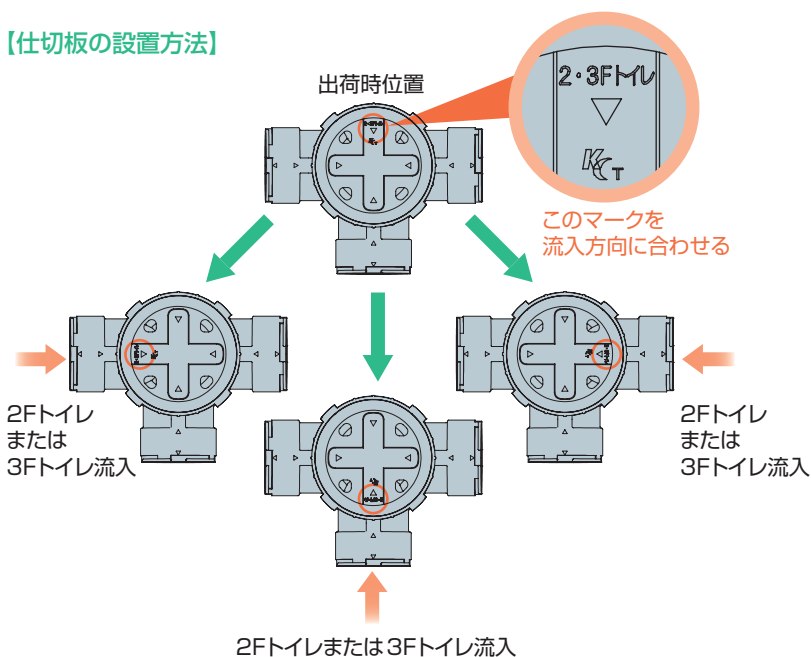
6 仕切板の設置

【仕切板の取り外し方】

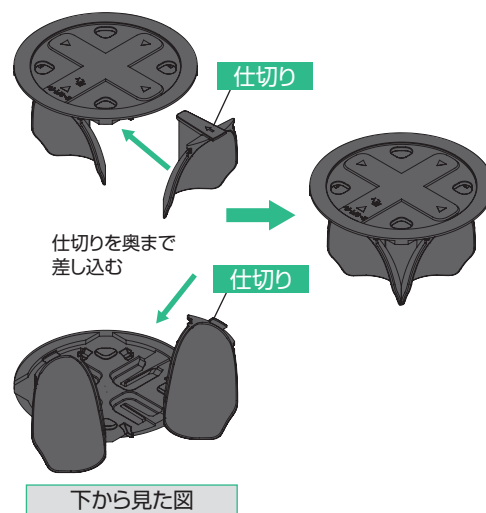


- 2Fトイレまたは3Fトイレ配管を接続する場合はKCユカマスS内部の仕切板を一旦取り外し、仕切りの位置を流入方向に合わせてください。
- 2Fトイレと3Fトイレを同時に接続する場合は仕切り(別売)を追加設置してください。
- 1Fに8Lトイレを接続する場合は、2F、3Fトイレに加えて、1Fトイレを接続する側にも仕切りを設置してください。
- 雑排水および6L以下の1Fトイレ配管の場合、仕切板の位置変更は不要です。
- リフォームの際には必ずトイレの容量を確認し、仕切りの要、不要を判断してください。

【仕切板の設置方法】



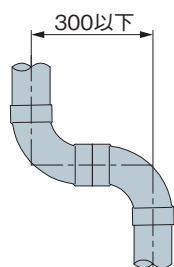
【仕切り(別売)の追加設置方法(例)】



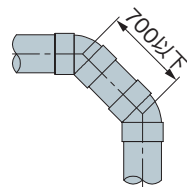
⚠ 汚水が越流しますので仕切りが必要な箇所には必ず設置してください。

仕切板を使用しない方法

- トイレ配管の1F床下配管部分に水平曲がりやを2ヶ所以上入れることで仕切板と同様の越流防止効果が得られます。
- 水平2曲がりのうち、右図の配管については1曲がりで見なしてください。

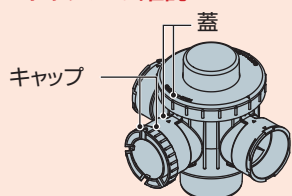


上記LLオフセットは1曲がりで見なす



上記45L連続2曲がりは1曲がりで見なす

蓋・キャップの確認



蓋

キャップ

- 抜け止めリングがロックされるまで時計回りに回してください。
- ⚠ KCユカマスS本体と抜け止めリングの合いマークが合っていることを確認してください。
- Oリングのねじれ、汚れ等がないことを確認してください。
- ⚠ Oリング外周面全体にわたりクボタケミックス製Vスプレーを吹き付けて、キャップの爪部とKCユカマスS本体の受口切り欠き部を合わせて挿入し、時計回りに止まるまで回してください。
- ⚠ 本体の合いマークとキャップのU字溝の位置が合っていることを確認してください。

使用上の注意事項

ここでは、クボタケミックス製品の性能を十分に発揮させるために、注意すべき事柄や禁止事項について項目別に説明しています。各種管材を適切かつ安全に使用するためにも、一度よくお読みいただき、必要のつど安全マニュアルとしてご活用ください。

●お守りください。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



気をつけていただきたい
「注意喚起」の内容です。



行ってはいけない
「禁止」の内容です。

製品の使用に関する注意点



現場焼却の禁止

塩ビ管・継手は、現場焼却しないでください。有害な塩素ガスが発生し、たいへん危険です。



他用途への使用は禁止

屋内排水用途以外には使用しないでください。



法令に従った処理を

塩ビ管・継手の残材や使用後の廃材の処分は、法令および地方自治体の条例にしたがって行ってください。また、残材や廃材はハンマーなどで碎かないでください。破片が飛散し危険です。

施工上の注意点

施工にあたっては、作業の安全性と配管としての性能を確保するために、当社の推奨する標準施工法にしたがって施工してください。施工条件などにより、これにしたがえない場合は、当社にお問い合わせください。



継手の保管

継手の保管も管と同様に屋内保管とし、やむをえず屋外保管する場合は、シートを掛けて保護してください。とくにゴム輪製品については、直射日光が当たるとゴム輪が劣化するので、必ず覆いを掛けてください。



適切な工具の使用

正しい施工と安全のために、切断・接合などの作業に用いる工具は、適切な仕様品を選択してください。また、それぞれの取扱説明書の内容を充分理解した上で使用してください。



有機薬品に注意

塩ビ管・継手は、有機薬品に対して材質的に侵される恐れがあります。クレオソート（材木用防腐剤）、白アリ駆除剤、殺虫剤、塗料に接触させないでください。また、可塑剤入りの被覆電線・被覆支持金物・ビニルテープ・粘着テープなどは直接製品に触れないように施工してください。



接着接合後の換気

接着接合時は、接合後の管路内の換気を充分行ってください。接合後、管路を密閉状態にすると、溶剤クラッキングという接着剤中の残存溶剤蒸気によって塩ビ管に小さな亀裂が発生し、漏水の原因になります。とくに冬季配管時は溶剤が蒸発しにくく残存しやすいので、ご注意ください。

塩ビ管用接着剤の取扱い上の注意点



他用途への使用は禁止

塩ビ管用接着剤や樹脂系接合剤は、塩ビ管・継手の接合用として開発されたものです。他の用途に流用しないでください。



接着剤の使い分け

接着剤には一般材質用とHI材質用とがあり、各々の管ならびに継手の接合強度が適切になるよう配慮されています。したがって、その管の材質に適合する接着剤を使い分ける必要があります。



目に入ったら

誤って目に入った場合は、こすったりしないですみやかに医師の診断を受けてください。



保管は法令に従って

接着剤は消防法の危険物に該当します。保管にあたっては法令および市町村条例を守ってください。



換気・火気に注意

有機系溶剤による中毒と火災を防止するために、作業現場では換気に注意し、火気をさけてください。



手袋の着用を

かぶれ・ただれを防ぐために手袋を着用し、直接皮膚に触れないように注意してください。万一皮膚に触れた場合は、すみやかに石鹸と水で洗い落としてください。



手洗いとうがい

使用後は、手洗いとうがいを充分に行ってください。



火気をさけて冷暗所に

接着剤には有機溶剤が含まれています。使用後は、缶のふたをしっかりと閉め、火気をさけて屋内の冷暗所に保管してください。



古くなったら使わない

古くなって固まりかけたり、溶剤特有のにおいがしない接着剤は、接着効果がなくなっている可能性がありますので使用しないでください。また、接着剤をシンナーなどでうすめて使用することはさけてください。接着効果が低下し、配管の抜けや漏水の原因になります。



混ぜて使用することは厳禁

異なる種類の接着剤と混ぜて使用した場合、接着効果が著しく低下します。

株式会社クボタケミックス

■営業拠点はこれから

本社・支店・営業所の所在地／
電話番号／FAX番号



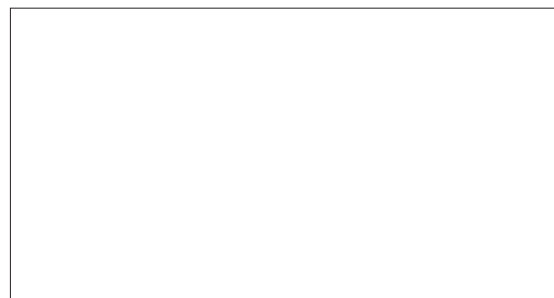
■詳しくは.....

ホームページ 製品情報／トピックス／電子カタログ閲覧／
資料ダウンロード／Q&A／広報誌「PAL」

<https://www.kubota-chemix.co.jp>



※当カタログに記載の内容は、製品改良のため予告なく変更することがあります。
また許容差のない数値は標準値とします。
※製品写真の色は印刷のため、実際とは若干異なります。



No. **030-07** (05.2.3)
16.10.3.IN.TC